

一

- 問1 a 指摘 b 対照 c 象徴 d いちじる e 依頼(2点×5)
- 問2 I 血 II 茶(2点×2)
- 問3 A エ B ア C イ D ウ(2点×4)
- 問4 ある人のことが憎ければ、その人に関するものすべてが憎く思われるということ。(3点)
- 問5 人間関係によって、書評のスタイル・内容が決まり、人への感情でほめたりけなしたりしてしまうというもの。(4点)
- 問6 (読者は) 正しく書かれた批評(を読めないということ)。(3点)
- 問7 エ(3点)
- 問8 ウ(3点)

二

- 問1 「つ」「く」「し」の字よりも「あ」の字は形が複雑だから。(3点)
- 問2 a オ b エ c イ d ウ(2点×4)
- 問3 直喩(3点)
- 問4 ウ(4点)
- 問5 ア(4点)
- 問6 昔娘の通信簿が読めなかったときの娘の顔を思い出し、泣きそうな気持ちになっていること。(5点)
- 問7 思いがけないこと。(3点)
- 問8 (正子ハルモニのように) 自分の人生のために誰にも奪われないものを自分の中に蓄えるという学びをし、強くなりたいということ。(5点)

三

- 問1 おしえそうらいける (3点)
- 問2 結びの語 ける 活用形 連体形(2点×2)
- 問3 ①どういうもの ②仏の教えによってなるのだ (3点×2)
- 問4 第一の仏(3点)
- 問5 i イ ii エ(2点×2)
- 問6 ウ(3点)
- 問7 作者 兼好法師 ジャンル 随筆 (2点×2)